

令和元年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 折尾 中学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和元年6～7月に、2年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動と一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

※ [8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン・持久走、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ

※持久走か20mシャトルランのどちらかを選択するため8種目となる。

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

＜男子＞

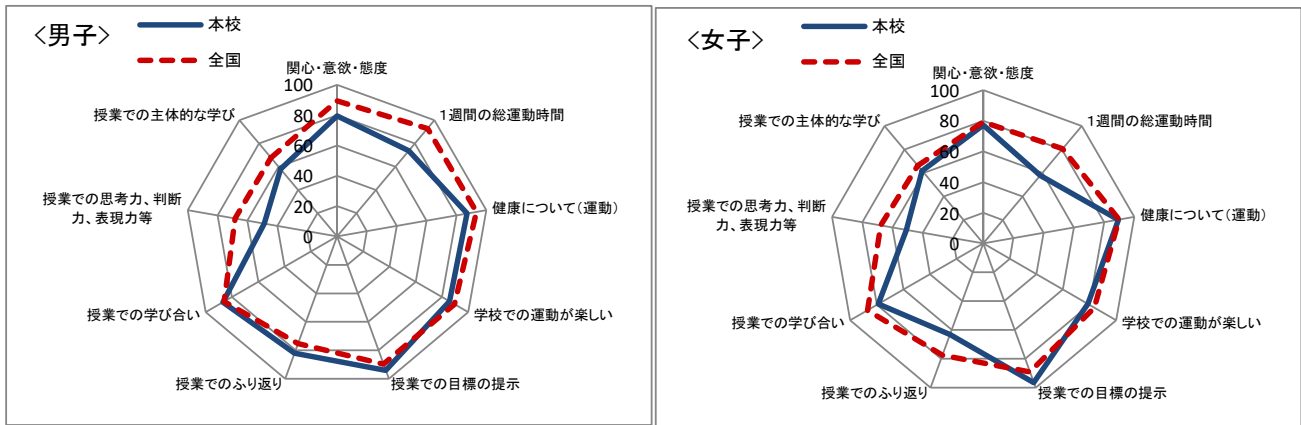
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
全国	28.65	26.96	43.50	51.91	398.98	83.53	8.02	195.03	20.40	41.69
本市	29.63	28.64	46.77	53.12	401.16	84.64	7.87	200.12	21.00	44.54
本校全国平均以上の種目		○	○						○	

＜女子＞

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
全国	23.79	23.69	46.32	47.28	289.82	58.31	8.81	169.90	12.96	50.22
本市	24.35	24.38	48.94	47.85	286.99	58.41	8.73	174.72	12.95	52.11
本校全国平均以上の種目	○	○	○			○		○	○	○

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

○保健体育の授業での「めあて」の提示は全国平均を上回っており、生徒が1時間の見通しをもって授業に取り組むことができている。今後も授業改善を行い、学びが定着するよう、活動と話し合いのバランスをとり、授業を行っていく。
○昨年と同様、1週間の運動量が、全国平均を下回っている。そのため、授業や学校行事を通して運動習慣の定着を図ることはもちろん、授業の中での学び合いや主体的な学びの機会を増やし、自ら運動に取り組む意欲を育てなければならない。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で)

○準備運動や補強運動も楽しみながら活動量が確保できるように工夫し、また、運動が苦手な生徒でも授業の中で「わかる」「できる」が実感できるよう、学び合い、教え合いの機会を増やしていく。
○反復横跳びや50m走に課題があるため、授業の中でスピードや、敏捷性を高める運動を取り入れていく。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

○休み時間に使用できるボールの数を今よりも増やし、自主的に外で体を動かす生徒を増やしていく。
○駅伝・ロードレース大会を行い、走ることの大切さや、友達と協力して運動に取り組む喜び及び、自分の目標に向けて努力することの大切さを伝えていく。